

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 3 月 8 日作成)

小委員会名	情報社会デザイン小委員会		主 査 名：本江正茂 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：加賀有津子
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報社会」と「デザイン」の関係について考える</li> <li>・4つのWGを設置し、それぞれに活動する。</li> </ul> 2011 年度：各 WG による概念構築と事例収集、シンポジウム等の開催 2012 年度：各 WG による概念構築と事例収集、シンポジウム等の開催		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：本江正茂 (東北大学) 幹事：渡邊朗子 (東京電機大学) 委員：大内宏友 (日本大学)・沖塩莊一郎 (東京理科大学)・小鷹義和 (ソニーファシリテ イマネジメント)・篠崎道彦 (芝浦工業大学)・仲隆介 (京都工芸繊維大学)・山代 悟 (ビルディングランドスケープ)		
設置 WG (WG 名：目的)	<b>空間生命化デザインWG</b> ：人の情報活動を支援し、情報技術と融合する建築空間 の在り方を空間生命化ととらえ、その概念構築と具体化について研究すること <b>生命環境モデルWG</b> ：地球環境・地圏生物圏も視野に入れた建築・都市・地域計 画における生命環境の空間のモデル化 <b>ファシリティ・デザイン&amp;マネジメントWG</b> ：ユビキタス社会にふさわしい“場 (ファシリティ)”に関する議論を行い、ファシリティのデザインからマネジメ ントに至る分野の研究 <b>行動センサリングWG</b> ：行動センサリング (RFID・Tag、センサー、GPS などを用 いて、人間や組織の行動を把握する) を切り口として、行動と環境の関係を研 究すること		
2012 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第14回ファシリティマネジメント・シンポジウム「知的創造活動のためのワ ークスタイルとワークプレイスの試み-4 -コミュニティデザインの切り口から-」 『同名資料』 参加者数 118 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<b>空間生命化デザインWG</b> ：空間生命化デザイン本出版に向けた企画及び具体的な 計画が立てられた。 <b>生命環境モデルWG</b> ：地域において生命を守るモデルとして、特に救急医療シス テムにおける施設適正配置の有効医療圏域のモデル化を学術論文等にて提示で きた。

	<p><b>ファシリティ・デザイン&amp;マネジメントWG</b>：第 14 回ファシリティマネジメント・シンポジウムを実施し、多くの参加者を得ることができた。</p> <p><b>行動センサリングWG</b>：活動内容とメンバーが他の小委員会と重なってしまい、思うように活動できず、目標は達成できなかった。今回の改組によりこの問題は解消された。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. ねらいの異なる各 WG の活動を主にしており、横の連絡が十分にできなかった。
その他	